

平成30年度 北九州市立 菅生中学校 学校経営方針(全体構想)

校訓

- ・自主 創造
- ・人権 友愛
- ・健康 勤労

○生徒の実態
→本校の教育課題
○保護者・地域の願い
○時代や社会の要請

学校教育目標

一人一人が生き生きと輝き、知・徳・体の調和のとれた生徒の育成

GOAL 子ども達の笑顔と生きる力の創造

～ 生きる力 「自立」・「共生」～

＜国・市の動向＞

- ・現行、改訂学習指導要領
- ・「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」
- ・北九州スタンダード「指導の重点」
- ・学力体力アクションプラン

目指す学校像

- ★一人一人が大切にされ、いじめや差別のないあいさつの響く学校
- ★秩序や規律があり落ち着いた学校
- ★美しく整備された学校
- ★豊かな心や健やかな体を育む学校
- ★生徒や保護者・地域から信頼される学校

目指す生徒像

- ☆自ら進んで学び、考える、創造力豊かな生徒
「**自主・創造**」＝知→確かな学力・体力の向上
- ☆自他共に愛し、尊重する心豊かな生徒
「**人権・友愛**」＝徳→心の育ちの推進
- ☆勤労を尊び、心身共に健やかな生徒
「**健康・勤労**」＝体→健やかな体の育成

目指す教職員像

- 個から組織へ**
- ◎信頼と責任と協力の精神に支えられた創造的で明るい教職員集団(チーム学校の実現)
 - ・確かな学力の向上のために授業の工夫・改善に努める教職員
 - ・生徒理解に努め、一人一人の良さを伸ばす教職員
 - ・人権感覚を身につけ、厳しさと温かさのある指導ができる教職員
 - ・保護者・地域の願いや信頼に応えられる教職員
 - ・学び続け、自己の資質能力の向上を目指す教職員

4つの重点目標及び具体的な方策

1 確かな学力・体力の向上

『一時間一時間の授業を大切にす。』
『組織で取り組む学力・体力向上』

- ① 学力・体力向上推進委員会を中心とした組織的・計画的な取組
- ② 主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニングの視点)の実現
・**学びの基盤となる学級集団づくり**
・**支持的風土の醸成**
・「考えをもつ→話し合う、交流する→表現する→振り返る」学習サイクル
・ICT機器の活用促進
- ③ 補充学習の充実
・学活や考査前の学びタイム
・学力定着サポートシステムの活用
- ④ 生活習慣・学習習慣・運動習慣等「学びの基盤づくり」の充実
・学習規律の徹底
・自学の取組「**新菅生ノート**」の活用
・英検・漢検等、発展的な取組
・体力向上1校1取組(長距離走)の徹底
- ⑤ 自立した学びを実現する取組
・授業力向上
・豊かな教室環境の創造
- ⑥ 校内研修の充実と校外研修への積極的な参加 *先進校への視察と交流

2 心の育ちの推進

- ① 自己実現を目指す積極的な生徒指導
・**あいさつを対人スキルの中心と捉え、あいさつの響く学校**
・組織的・機動的な生徒指導体制の確立
・定例の生徒指導委員会(課題と指導の重点)
・いじめ(の芽)事案への速やかな対応
・長期欠席生徒へのきめ細やかな対応
- ② 全校体制による特別支援教育の充実
・交流・共同学習の充実
・共感的な生徒理解に立つ学級づくりの推進
- ③ 自立した生徒を育てる生徒会活動の充実
・あいさつ運動等生徒会発の取組
- ④ おもいよりの心の育成や規範意識の醸成
・心に響く道徳の授業づくり
・人間関係づくり、学級集団づくりを促進する学級活動の充実「**北九州市子どもつながりプログラム**」の実践
・非行防止・薬物乱用防止、暴走、情報モラル等の取組の充実 ※講師招聘
- ⑤ 確かな人権感覚をはぐくみ、人権意識の高揚を図る人権教育の推進
・新版「いのち」の活用
・「明日への伝言板」等人権作品を活用した人権教育の推進
- ⑥ 部活動の適切な運営と活性化
・合理的な練習計画、適正な休養日の設定

3 子どもの意欲を高め、特性を伸ばす教育の推進

- ① 落ち着いた学習環境の整備
・委員会活動の活性化による清掃活動の徹底
- ② 将来の展望を持たせるキャリア教育(進路指導)の充実。
・「**全員高校進学**」を見据えた進路指導
・学級活動・総合的な学習の時間を活用した系統的な実施
- ③ 一人一人の特性に応じた特別支援教育の充実
・交流、共同学習の充実
・保護者、関係機関との連携
- ④ 読書活動の充実を図る学校図書館教育の推進
・開館時間の工夫等学校図書館の活用促進・蔵書等に関する広報活動の充実
・朝読書、読み聞かせ等学校における読書活動の推進
- ⑤ 日本、地域の伝統文化を尊重する教育の推進
・地域行事への積極的な参加
・教科や修学旅行での日本の伝統文化を学ぶ体験活動
- ⑥ 健康・安全教育の推進
・健康：生活習慣、食に関する指導
・安全：火災・地震等避難訓練の実施

4 学校対応力向上

- ① 教職員の指導力向上
・OJT、校内研修会の充実
・**確かな人権感覚の育成「知識」と「実践力」**
・教員相互の授業参観
・校務分掌の見直し、行事の精選
- ② 小中一貫連携教育の推進
・中学校体験授業
・9年間の育ちを地域と共に支える**菅生中校区ルールづくり**
・5校校長会議、実務者会議の実施
- ③ 保護者・地域との連携
・学校からの情報発信の強化(学校通信、学年・学級通信、保健だより、HP等)
・PTA行事・地域行事への生徒・教職員の参加促進
・**保護者負担軽減**
・積極的な家庭訪問
- ④ 学校評価の充実
・学校経営ビジョンの共有。
・学校自己評価と学校関係者評価の充実

4つの重点目標達成のために大切にしていきたいこと

- ＜危機管理体制・対応の徹底＞
- ◎**リスクマネジメント(予防)**
・いじめアンケート、教育相談の充実
・特別な支援が必要な生徒の個別の支援体制の充実
 - ◎**クライシスマネジメント(対応)**
・危機管理の「サシセソ」
・「ほう・れん・そう・かく(報告・連絡・相談・確認)」
・記憶より記録

- ＜教育活動における行動指針＞
- ①「安全」
 - ②「子どもの成長」
 - ③「法令遵守」
 - ④「組織対応」
- ◎「時を守り、場を清め、礼を正す」
◎**かくれたカリキュラムの意識**
◎教職員の協働体制(協働精神)の充実
・ベテランの知恵を継承し、若手の豊かな発想力を支援し、互いに学び合う**職場チーム菅生**
◎**明確なGOAL設定「何のために」**
◎**褒める 認める生徒指導**

- ＜業務改善・綱紀粛正＞
- ◎**前例踏襲にとらわれない業務改善**
・野球(9回時間制限無し)よりサッカー(時間制)
 - ・成果物の整理、共有
 - ・隙間時間の活用、年休取得の推進
 - ◎心と体の声を聴き、健康管理に努める。
定時退校日、**部活動休養日**
 - ◎教育公務員としての自覚とプライドをもち、綱紀粛正に努める。
・不祥事撲滅(体罰・不適切な指導・飲酒運転等)